

## だいこん

### (1) 耕種的防除法等

病虫害名	防除適期	防 除 方 法
萎 黄 病	植付前 生育中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健全な種子を選ぶ。</li> <li>○ 発病地では連作せず、4～5年間だいこんの作付けを休む。</li> <li>○ 抵抗性品種を使用する。</li> <li>○ 発病株は抜き取り焼却する。</li> </ul>
黒斑細菌病	植付前 生育中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健全な種子を選ぶ。</li> <li>○ 連作しない。</li> <li>○ キスジノミハムシ、その他土壌害虫を防除する。</li> </ul>
軟 腐 病	植付前 生育中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風通しのよい無病地に栽培する。</li> <li>○ 発病の多い畑では、播種期をできるだけ遅らせるか、晩生品種を栽培する。</li> <li>○ 発病畑では、輪作年数を長くし、4～5年間はあぶらな科作物を作付けしない。</li> <li>○ 病原菌は、キスジノミハムシ、ナメクジ、カタツムリ、ネキリムシ、ネコブセンチュウ等の害虫による傷口から侵入するので、これらの害虫の発生に注意する。</li> </ul>
モザイク病	植付前 生育中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 播種期を遅らせ、抵抗性品種を栽培する。</li> <li>○ 苗床を寒冷紗で被覆する。</li> <li>○ 秋まきのはくさい、だいこんに被害が多い。</li> <li>○ 発芽初期から、周辺の圃場も含めて媒介昆虫のアブラムシ類の発生に注意する。</li> <li>○ 発病株は、抜き取り処分する。</li> </ul>